第６章　郷土の歴史、伝統文化・芸能にふれあい、新たな文化を創造するまちづくり

第１節　文化が保存され継承されるまちをつくる

重点目標

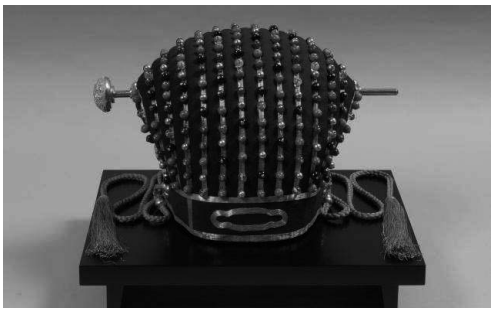
本市に所在する「識名園」「玉陵」「園比屋武御嶽石門」「首里城跡」を含む９件が「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として、平成 12 年 12 月２日にユネスコの世界遺産に登録された。それら世界遺産をはじめ、本市における多くの歴史的文化財について、適正に維持管理を行い、保存・継承する必要がある。

文化財の保護は、市民生活の精神的基盤であり、広く市民の理解と協力を得てこそ推進することが出来るものであることから、市民との「協働」のもとに、地域の歴史・文化財に親しめるような取組みを行い、博物館等文化施設の事業を充実させ、学校教育との連携を強化し、更に文化遺産への理解と普及を図るよう市内外への広報活動を推進し、より一層の文化財保護行政の充実・発展を図る。

施策事業の概要

１　文化財の認知度を高める

（１）歴史博物館、焼物博物館における常設展示や企画展・特別展に関する解説会・解説講座の新設、既存の解説会等の回数を増やすなど、文化財との接点となる機会創出に努める。


玉冠（国宝）

ア　那覇市歴史博物館では、「王朝文化と都市（まち）の歴史」を展示テーマとして「那覇」や「沖縄」の美術工芸、歴史資料を展示しており、現代史や民俗学、美術史にかかる企画展を開催している。

平成 30 年度の企画展１回あたり来場者数に近い 3,050 人の想定で、年間 9,150 人（３回）を目標値としたが、企画展の最中、コロナ禍により外出自粛または入館者数の制限を促す時期があり、来場者数は 7,721 人で、目標値まで達成できない結果となった。

解説会（壺屋焼物博物館）

イ　壺屋焼物博物館の学芸員と教育普及員が、那覇市立壺屋焼物博物館常設展展示資料を一般の方々により詳しく知ってもらうため、解説会（学芸員と展示を見よう～常設展ギャラリートーク～）を３月と４月を除く、毎月１回開催している。沖縄の焼物の文化や歴史、壺屋焼の技法や製作工程をわかりやすく説明するこの解説会は、月毎に専門の異なる職員が担当し、回によって解説するテーマや内容を変えながら、定期的に実施している。令和４年度は計 10 回開催し 108 人が参加した。また、企画展「那覇市指定無形文化財壺屋焼８人展『祈』～天地を結ぶ器たち～」の関連催事として「陶工によるギャラリートーク」を計３回開催し、37 人が参加した。

ウ　世界遺産解説会の開催

世界遺産への理解を深めてもらうため、毎月第３日曜日は識名園・玉陵において、無料の世界遺産解説会を実施している。

世界遺産解説会（玉陵）

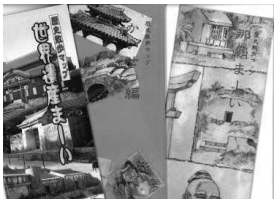
エ　ボランティアガイドの活用

歴史や文化を学びたいという市民等の学習意欲に応えるため、史跡めぐり案内講師「案内親方」、識名園ボランティアガイド「識名里主」が活動している。

オ　文化財の広報の促進

(ｱ)　「那覇市の文化財」（令和２年度版）の販売

那覇市に所在する指定文化財の概要をまとめて紹介し、市民や観光客の文化財探索や学習に役立てる（有料）。



(ｲ)　歴史散歩マップ、昔話、玉陵ガイドブック販売

自由に探索できるように文化財の所在地をわかりやすく紹介した「歴史散歩マップ５種」、那覇市に昔から伝わる昔話を紹介した「昔話シリーズ４種」、玉陵についての多くの画像や資料を掲載したガイドブックを用意した（有料）。

（２）児童・生徒を対象とした学習プログラムによる教育普及活動を強化し、学校における学習活動との連携の充実を図る。

ア　児童・生徒及び社会教育施設等を対象に、沖縄の伝統工芸「壺屋焼」を楽しく、わかりやすく学ぶための「出前展示」「出前体験教室」及び「出前授業・講座」を実施している。焼物を実際に見て、さわって、体験しながら学習できるプログラムを通して、沖縄の焼物文化や伝統工芸「壺屋焼」に対する理解を育んでいる。小学校の副読本『わたしたちの那覇市』の「昔の道具とくらし」・「焼き物を生かしたまちづくり」の学習にも対応している。

（３）埋蔵文化財発掘調査の現地説明会、出土遺物の実物や写真パネルによる展示会を実施し、文化財への興味や関心の高揚を図る。

発掘調査の様子（首里旧大中村跡）

現地説明会の様子（湧田村跡）

ア　埋蔵文化財発掘調査事業

住宅建設および諸開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行う。発掘調査で出土した遺物の整理を行う。また、調査を行った際には現場の状況に応じて適時現地説明会を行う。

・那覇市内遺跡発掘調査（首里旧大中村跡・崇元寺跡・山川陵）
・開南小学校施設建替工事に係る埋蔵文化財発掘調査（湧田村跡）
・開南小学校給食調理場改築に係る埋蔵文化財発掘調査（湧田村跡）
・末吉公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（末吉村跡）
・（仮称）那覇市西一丁目ホテル建替工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（西村跡）
・「（仮称）字国場複合ビル」建設に係る埋蔵文化財発掘調査（国場前原遺跡）
・那覇航空基地新庁舎建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査業務（小禄海軍飛行場跡）
・真地久茂地線埋蔵文化財調査業務委託（R４）（与儀橋〔新栄橋〕）
・龍潭線埋蔵文化財調査業務委託（R４）（首里当蔵旧水路）
・小禄道路敷設に伴う発掘調査業務（ミノシン毛古墓群・らくだ山戦争遺跡群 A 地点・らくだ山戦争遺跡群 B 地点・鏡水水溜屋原 B 遺跡・宮城平田原古墓群・宮城平田原壕群）
・（仮称）那覇ふ頭１号・２号上屋建替工事（建築）に伴う埋蔵文化財発掘調査（西新町〔築地町〕の井戸）
・（仮称）Y’S ハウス首里城下町建築に伴う埋蔵文化財発掘調査（首里旧金城村跡）

２　文化財の保全

（１）文化財の保全・整備を推進し、市民・県民並びに観光客へ文化財の魅力発信の取り組みを強化する。

ア　埋蔵文化財試掘調査事業

住宅建設および諸開発などから文化財を保護するために、事前に試掘調査等を行い埋蔵文化財の有無を確認する。

イ　文化財情報の周知、開発情報の収集

文化財情報の周知を図り、諸開発から文化財を保護するための開発情報の収集および発信を推進するとともに、事業者との事前協議の徹底を図る。

試掘調査の様子

立会調査の様子

ウ　文化財の調査・指定の促進

文化財を詳細に調査し保存するとともに、未指定文化財はその指定を促進する。

エ　文化財の管理及び運営の強化

文化財を保護し環境を適正に維持するため、定期清掃、除草、巡回等を行うとともに、一般公開されている文化財の適切な活用に努める。

(ｱ) 識名園管理・運営

世界遺産・国指定特別名勝「識名園」は 1799 年に造営された王家の別邸で、近世日本の大名庭園に琉球独自の工夫が加えられた庭園である。中国皇帝の勅使である「冊封使（さっぽうし）」を接待する場として王府の外交面において重要な役割を果たしたほか、王族の保養の場としても利用された。平成７年 11 月１日から「那覇市玉陵及び識名園条例」を施行し一般公開を行い、市民の文化財に対する理解に資している。

識名園

(ｲ) 玉陵（たまうどぅん）管理・運営

世界遺産・国宝・国指定史跡「玉陵」は、第二尚氏王統第３代の尚真王によって築かれた第二尚氏王統の陵墓で、琉球王国時代に造られた独自の技法を凝らした石造建造物として貴重なものである。平成５年５月１日から一般公開を行い、平成 16 年度からは新たに東（あがり）の御番所（うばんじゅ）の一般公開を行っている。また、平成 30 年 12 月に沖縄県で初めて建造物として国宝に指定された。

玉陵墓室石牆

(ｳ) 新垣家住宅管理・公開

国指定重要文化財「新垣家住宅」は伝統的な壺屋の陶工の住宅形式を知る上で唯一残された貴重な建造物である。国、県、市から所有者に補助金を交付して保存、修理事業を実施し、令和元年度に整備が完了した。令和３年２月 26 日に那覇市が管理団体に指定され、同年３月５日より居住区域を除き一般公開を行っている。

新垣家住宅

オ　文化財の修復・整備の促進

史跡等の文化財保護活用を図るため、文化財の公有化、修復整備を行っている。

(ｱ) 首里金城町石畳道保存修復事業

昭和 59 年度から継続して、石畳道の轍や破損部分について県補助を受けて保存改修を行っている。

(ｲ) 伊江殿内庭園保存整備事業

国指定名勝「伊江殿内庭園」は、国王や冊封使（さっぽうし）の接待、交流の場として使用された歴史的な琉球庭園である。平成 15 年から保存整備事業に着手しており、平成 29 年度には急傾斜地の安全対策工事が完了し、主庭部の復旧に向けた設計に着手した。平成 30 年度からは主庭部設計を段階的に進めながら整備工事に着手しており、今後も公開活用に向けた整備を進める。

(ｳ) 伊江御殿別邸庭園保存整備事業

国指定名勝「伊江御殿別邸庭園」は、琉球王国時代の王子家の中でも最も格式の高い伊江家（伊江御殿）の別邸の庭園であり、上流階級の庭園として芸術上・観賞上の価値が高い庭園である。令和３年度に、同庭園の保存と公開・活用についての大枠を定める保存活用計画を策定。

今後も公開活用に向けた整備を進める。

カ　文化財の保存・整備・活用の推進

文化財を市民の身近な学習の場にするとともに、文化財の保存・整備・活用のため環境整備を推進する。

キ　文化財周辺環境の整備

文化財と周辺環境の連続性を保つため、文化財をとりまく周辺の整備を行う必要がある。

ク　歴史的まちなみ保存・整備

文化財の安全性の確保と、歴史的景観の確保に努める。

（２）関係団体との協働事業の充実により、身近にある文化遺産の愛護活動を支援する。

ア　地域団体との協働による文化財の保全

市民が文化財を身近なものとして親しみを持ち、保護に積極的に関われるよう、市内 19 ヶ所の文化財について地域の自治会やＮＰＯ等７団体に管理委託を行っている。今後も管理委託の推進に努める。

イ　住民や地域団体と協力して「なはの日」に「壺屋地域文化財（南ヌ窯、東ヌ窯等）・壺屋やちむん通り清掃」を実施した。

（３）発掘調査に伴う遺物の展示公開・保管のあり方を検討する。

ア　調査に伴う遺物の保管と公開活用、発掘調査によって出土した資料を適切に保管し、これらを展示会等で公開することで活用を図る。

展示会の様子（県立図書館）

３　地域連携の充実

（１）地域イベントと連携し、地域活性化とともに文化財の普及活動の充実を図る。

ア　真和志地域における伝統文化の継承と新しい文化の創造、青少年の健全育成と地域の活性化及び文化財保護の啓蒙を図ることを目的に、毎年、世界遺産・国指定特別名勝「識名園」を会場として「識名園友遊会」が行われている。

イ　那覇市歴史博物館では首里振興会と連携して、古都首里の歴史や文化、芸術を市民目線で探訪する「首里大学」を例年開催し、毎年テーマを変えながら地域密着型スタイルの講座を開催することにより、地域活性化とともに文化財の普及活動の充実を図っている。

しかし令和２年度から令和４年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。（写真は、令和元年度の様子）

ウ　壺屋焼物博物館は、那覇市の「協働によるまちづくり」をテーマに地域団体と共催で「壺屋でシーサーの日！」、「壺屋やちむん通り祭り」、「壺屋陶器まつり」、「新春もちつき大会」などのイベントを実施している。

「壺屋でシーサーの日！」の様子

4　文化財の活用推進

【令和４年度　那覇市歴史博物館入館者数】　　単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開　館　日　数		26	26	24	27	26	26	25	27	22	22	25	24	300
入館者総　計	一　般	543	1,148	883	1,151	914	457	671	980	885	750	973	815	10,170
	高・大学生	81	87	68	84	119	66	85	130	149	63	109	144	1,185
	中学生以下	16	34	41	170	114	14	164	42	18	33	17	56	719
	シルバー	24	57	67	37	35	26	32	45	21	26	19	23	412
	その他（免除）	43	68	58	87	95	34	44	125	85	70	66	64	839
	ﾚﾌｧﾚﾝｽ等	19	14	24	13	22	27	20	36	18	23	18	27	261
	計	726	1,408	1,141	1,542	1,299	624	1,016	1,358	1,176	965	1,202	1,129	13,586

【令和４年度　那覇市歴史博物館企画展事業】

	名　　称	開　催　期　間
1	「日本復帰 50 周年記念企画展　時をかける那覇」	５月 13 日(金) ～ ６月 27 日(月)
2	「タイムスリップ EXPO'75～『望ましい未来』から海洋博を振り返る～」	７月１日(金) ～ ８月 29 日(月)
3	「近代沖縄の染織」	10 月 28 日(金) ～ 12 月 26 日(月)

【令和４年度　壺屋焼物博物館　常設展館観覧者数】　　単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開　館　日　数		26	26	20	28	26	27	27	26	27	25	24	27	309
入館者数総　計	一　般	1,274	631	439	733	541	508	585	4,436	822	781	919	965	12,634
	高・大学生	170	157	70	177	159	147	174	344	179	161	173	189	2,100
	中学生以下	317	46	116	155	116	86	156	702	26	68	232	79	2,099
	シルバー	6	10	18	7	12	14	33	20	29	26	28	25	228
	計	1,767	844	643	1,072	828	755	948	5,502	1,056	1,036	1,352	1,258	17,061

【令和４年度　壺屋焼物博物館　企画展事業】

	名　　称	開催期間
1	シーサー展	４月３日（日）～４月24日（日）
2	壺屋でシーサーの日！ 体験教室面シーサー展	５月17日（火）～５月22日（日）
3	那覇市指定無形文化財壺屋焼８人展 「祈」～天地を結ぶ器たち～	７月15日（金）～７月31日（日）
4	那覇市立壺屋焼物博物館コレクション展 収蔵コレクション名品50選	８月９日（火）～８月28日（日）
5	湧田古窯展～ヤチムンの源流をたどる～	11月１日（火）～11月27日（日）

【令和４年度　沖縄県内の学校等による玉陵・識名園の利用状況】

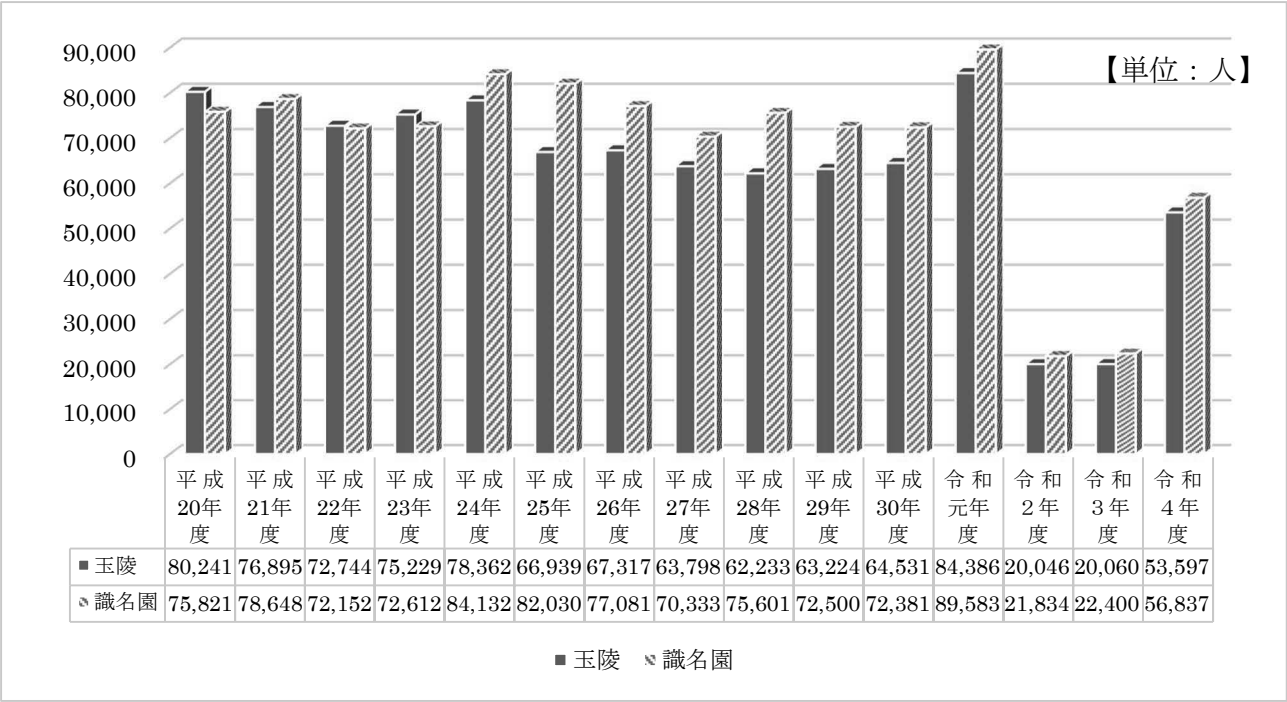
玉陵

区　分		人数
1	市内小学校	63
2	市内中学校	231
3	市内高校	753
4	市内大学･専門学校	88
5	市外小学校	0
6	市外中学校	241
7	市外高校	416
計		1,792

識名園

区　分		人数
1	市内小学校	183
2	市内中学校	159
3	市内高校	40
4	市内大学･専門学校	0
5	市外小学校	82
6	市外中学校	0
7	市外高校	78
計		542

【玉陵・識名園の入場者数】



	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
■玉陵	80,241	76,895	72,744	75,229	78,362	66,939	67,317	63,798	62,233	63,224	64,531	84,386	20,046	20,060	53,597
■識名園	75,821	78,648	72,152	72,612	84,132	82,030	77,081	70,333	75,601	72,500	72,381	89,583	21,834	22,400	56,837

【那覇市所在世界遺産】

〈世界遺産〉　（令和５年５月末現在）

条約資産種別	国内指定区分	名称	登録年月日	所在地・所有者等
記念工作物	重要文化財（建造物） 記念物（史跡）	園比屋武御嶽石門	平成12年 12月 2日	首里真和志町1丁目7 那覇市
	重要文化財（建造物） 記念物（史跡）	玉陵	平成12年 12月 2日	首里金城町1丁目3・3-1 沖縄県・那覇市
遺　　跡	記念物（史跡）	首里城跡	平成12年 12月 2日	首里当蔵町3丁目1・1-1 国・沖縄県
	記念物（特別名勝）	識名園	平成12年 12月 2日	字真地421-1 外 那覇市 外

【那覇市内指定等文化財一覧】

〈国指定〉　（令和５年５月末現在）

分野	種類等	種別	名称	指定等年月日	所在地	所有者・保持者・代表者等
	国　宝	歴史資料	琉球国王尚家関係資料	平成18年6月9日	那覇市歴史博物館	那覇市
		建造物	玉陵墓室石牆	平成30年12月25日	首里金城町1丁目3	沖縄県、那覇市
記念物	特別名勝		識名園	平成12年3月30日	字真地421-1 外	那覇市
	史　　跡		円覚寺跡	昭和47年5月15日	首里当蔵町1丁目1 外	沖縄県、那覇市
			首里城跡	昭和47年5月15日	首里当蔵町3丁目1-1 外	国、沖縄県
			末吉宮跡	昭和47年5月15日	首里末吉町1丁目	個人所有
			玉陵	昭和47年5月15日	首里金城町1丁目3，3の1	沖縄県、那覇市
			銘苅墓跡群	平成19年7月26日	銘苅2-3-1，2-10-1	那覇市
			弁之御嶽	平成30年10月15日	首里鳥堀町4丁目121外	那覇市
	名　　勝		伊江殿内庭園	昭和61年6月16日	首里当蔵町2丁目21の1	那覇市
			伊江御殿別邸庭園	平成21年2月12日	首里石嶺町1丁目62-1外	那覇市
			首里城書院・鎖之間庭園	平成21年7月23日	首里当蔵3-1 外	国
			アマミクヌムイ（弁之御嶽）	平成30年10月15日	首里鳥堀町4丁目121 外	那覇市
	天然記念物		識名園のｼﾏﾁｽｼﾞﾉﾘ発生地	昭和47年5月15日	字真地421の1，7	那覇市
			首里金城の大アカギ	昭和47年5月15日	首里金城町3丁目18，20	那覇市
有形文化財 重要文化財	建　造　物	住　宅	新垣家住宅	平成14年12月26日	壺屋1丁目28-32	個人所有
		橋　梁	旧円覚寺放生橋	昭和47年5月15日	首里当蔵町2丁目1	沖縄県
			天女橋	昭和47年5月15日	首里当蔵町1丁目2	沖縄県
		その他	旧崇元寺第一門及び石牆	昭和47年5月15日	泊1丁目9-1	那覇市
			園比屋武御嶽石門	昭和47年5月15日	首里真和志町1丁目7	那覇市
			伊江御殿墓	平成11年12月1日	首里石嶺町1丁目62-4 外	個人所有
	美術工芸品	工芸品 （金工）	銅鐘（旧首里城正殿鐘）	昭和53年6月15日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			梵鐘（旧円覚寺殿前鐘 ・殿中鐘・桜鐘）	昭和53年6月15日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
		典　籍	おもろさうし	昭和48年6月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			混効験集	昭和48年6月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			中山世鑑・蔡鐸本中山世譜・蔡温本中山世譜	令和2年9月30日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
		古文書	田名家文書（附麻姓田名家家譜）	昭和48年6月6日	沖縄県立博物館・美術館	個人蔵
			琉球国時代石碑	令和元年7月3日	沖縄県立博物館・美術館 沖縄県埋蔵文化財センター	沖縄県
			銘苅家文書	令和4年11月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			琉球国王朱印状	令和4年11月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
		歴史資料	明孝宗勅諭 琉球国中山王尚真王宛	平成11年6月7日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			琉球芸術調査写真 鎌倉芳太郎撮影	平成17年6月9日	沖縄県立芸術大学	公立大学法人沖縄県立芸術大学
			琉球国之図・間切図	平成28年8月17日	沖縄県立図書館 沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			伊江御殿家関係資料	令和元年7月3日	那覇市歴史博物館	那覇市
無形文化財	重要無形文化財	芸能	琉球古典音楽	令和元年10月25日	宇栄原	中村　一雄
			組踊音楽歌三線	平成17年8月30日	与儀	城間　徳太郎
			組踊音楽歌三線	平成23年9月5日	仲井真	西江　喜春
			組踊音楽太鼓	平成29年10月2日	繁多川	比嘉　聰
			琉球舞踊立方	令和3年7月16日	辻	宮城　幸子
		工芸技術	紅型	平成8年5月10日	首里山川町	玉那覇　有公
選択	無形文化財	陶芸	壺屋の荒焼	昭和52年6月1日	壺屋	沖縄陶器保存会
	無形民俗文化財		那覇安里のフェーヌシマ	昭和54年12月7日	字安里	那覇安里 ﾌｪｰﾇｼﾏ保存会
			沖縄の綱引き	平成6年12月7日	県内各地	

〈国指定〉

分野	種類等	種別	名称	指定等年月日	所在地	所有者・保持者・代表者等
選定	保存技術		組踊道具・衣裳製作修理	平成21年9月2日	組踊道具・衣裳製作修理技術保存会	新垣　孝
登録　有形文化財	建　造　物		新垣家住宅主屋	平成19年7月31日	首里末吉町2-124-2	個人所有
			新垣家住宅ヒンプン	平成19年7月31日	首里末吉町2-124-2	
			新垣家住宅石垣	平成19年7月31日	首里末吉町2-124-2	
			新垣家住宅フール	平成19年7月31日	首里末吉町2-124-2	
			新垣家住宅東池	平成19年7月31日	首里末吉町2-124-2	
			新垣家住宅南池	平成19年7月31日	首里末吉町2-124-2	

〈県指定〉

分野	種類等	種別	名称	指定等年月日	所在地	所有者・保持者・代表者等
有形文化財	建　造　物	寺院建築	旧円覚寺総門	昭和47年5月12日	首里当蔵町2丁目1	沖縄県
		城郭建築	旧首里城守礼門	昭和47年5月12日	首里当蔵町3丁目	沖縄県
		橋　梁	末吉宮磴道	昭和31年2月22日	首里末吉町1丁目	末吉宮
			龍淵橋	昭和34年1月29日	首里当蔵町1丁目2	那覇市
			ヒジ川橋及び取付道路	昭和34年12月16日	字真地	沖縄県
		その他	壺屋荒焼のぼり窯附石牆	昭和48年3月19日	壺屋1丁目86	沖縄陶器（株）
	美術工芸品	絵　画	自了筆白沢之図	昭和33年1月17日	首里城公園管理センター	一般財団法人沖縄美ら島財団
			絹本着色花鳥図（殷元良筆）	昭和54年4月9日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			紙本着色雪中雉子の図（殷元良筆）	昭和54年4月9日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			紙本着色奉使琉球図	昭和57年3月4日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			紙本墨画竹の図（殷元良筆）	昭和57年3月4日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			紙本着色冊封使行列図	平成15年7月11日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			神猫図（山口宗季筆）	平成18年9月12日	那覇市歴史博物館	那覇市
		彫　刻	崇元寺下馬碑	昭和30年1月25日	泊1丁目9-1	那覇市
			円覚寺放生池石橋勾欄	昭和31年12月14日	首里当蔵町2丁目1	沖縄県
			玉陵石彫獅子	昭和31年12月14日	首里金城町1丁目3	那覇市
			木彫円覚寺白象並びに趣意書木札	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			世持橋勾欄羽目	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			玉陵碑	昭和34年1月29日	首里金城町1丁目3	那覇市
			旧円覚寺関係木彫資料	平成15年7月11日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
		工芸品（金工）	聞得大君御殿雲龍黄金簪	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			銅鐘（旧一品権現鐘）	昭和60年6月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			銅鐘（旧天尊殿鐘）	昭和60年6月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			銅鐘（旧天妃宮鐘）	昭和60年6月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			梵鐘（旧天竜精舎鐘）	昭和60年6月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			梵鐘（旧普門禅寺鐘）	昭和60年6月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			梵鐘（旧霊応寺鐘）	昭和60年6月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			梵鐘（旧大安禅寺鐘）	昭和63年1月12日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			梵鐘（旧永福寺鐘）	平成2年2月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
有形文化財	美術工芸品	工芸品（漆工）	黒塗堆錦山水絵大文庫	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			黒塗螺鈿雲龍文内金箔蓋付椀	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			黒塗螺鈿遊雁絵大文庫	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			黒漆薔薇堆錦軸盆	平成2年2月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			黒漆山水楼閣人物螺鈿机	平成2年2月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			朱漆山水楼閣人物箔絵丸型東道盆	平成2年2月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯	平成2年2月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			白密陀山水楼閣人物漆絵箔絵角盆	平成2年2月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			黒漆菊花鳥虫七宝繋沈金食籠	平成18年9月12日	首里城公園管理センター	一般財団法人沖縄美ら島財団
			黒漆牡丹七宝繋沈金食籠	平成18年9月12日	首里城公園管理センター	一般財団法人沖縄美ら島財団
		工芸品（陶磁）	色象嵌栗絵菊花皿	昭和54年9月3日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			枝梅竹紋赤絵椀	昭和54年9月3日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			線彫染付魚文皿	昭和54年9月3日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			象嵌色差面取抱瓶	昭和54年9月3日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県

〈県指定〉

分野	種類等	種別	名称	指定等年月日	所在地	所有者・保持者・代表者等
有形文化財	美術工芸品	工芸品（楽器）	三線志多伯開鐘	昭和30年5月23日	沖縄県立博物館・美術館	個人蔵
			三線湧川開鐘	昭和30年5月23日	首里当蔵町	個人蔵
			三線江戸与那	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			三線久葉の骨型	昭和33年8月15日	沖縄県立博物館・美術館	個人蔵
			三線南風原型	昭和33年8月15日	沖縄県立博物館・美術館	個人蔵
			三線南風原型	昭和33年8月15日	沖縄県立博物館・美術館	個人蔵
			三線大真壁型銘西平	平成6年3月15日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			三線大真壁型銘安室	平成6年3月15日	沖縄県立博物館・美術館	個人蔵
			三線大真壁型	平成6年3月15日	沖縄県立博物館・美術館	個人蔵
			三線与那城銘玉城與那	平成6年3月15日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			三線糸蔵長与那城型	平成6年3月15日	那覇市首里	個人蔵
			三線大真壁型附胴	平成6年3月15日	識名	個人蔵
			三線富盛開鐘附胴	平成6年3月15日	沖縄県立芸術大学	公立大学法人沖縄県立芸術大学
			三線盛嶋開鐘附胴	平成6年3月15日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
		書跡	蔡温の書	昭和42年4月11日	前島	個人蔵
			程順則の書	昭和42年4月11日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			扁額「徳高」鄭元偉書	平成元年9月29日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			扁額「凌雲」林麟焻書	平成元年9月29日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
有形文化財	美術工芸品	典籍	評定所格護定本『中山世鑑』	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			評定所格護定本『中山世譜』	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
		古文書	宮古島下地の首里大屋子への辞令書	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			伊平屋島仲田の首里大屋子への辞令書	昭和53年4月1日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			羽地間切の屋我のろへの辞令書	昭和56年3月30日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
		歴史資料	銅鐘残欠（旧波上宮朝鮮鐘）	昭和60年6月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			伊江家資料	平成14年1月18日	那覇市歴史博物館	個人蔵
無形文化財	芸　　能		沖縄伝統音楽安冨祖流	昭和47年12月28日	沖縄伝統音楽安冨祖流保存会	西江　喜春
			沖縄伝統音楽箏曲	昭和47年12月28日	沖縄伝統音楽箏曲保存会	野里　葉子
	工芸技術		びん型	昭和48年7月30日	沖縄伝統びん型保存会	城間　榮順
			本場首里の織物	昭和49年1月17日	沖縄伝統本場首里織物保存会	祝嶺　恭子
			琉球漆器	平成3年1月16日	琉球漆器保存会	
記　念　物	史　　跡		園比屋武御嶽	昭和30年11月29日	首里真和志町1丁目7	那覇市
			龍潭及びその周辺	昭和30年11月29日	首里真和志町1丁目1 外	沖縄県
			崎樋川貝塚	昭和31年10月19日	字天久	個人所有
			仲島の大石	昭和33年3月14日	泉崎1丁目20-3	旭橋都市再開発㈱
			首里金城町石畳道	昭和39年5月1日	首里金城町2丁目，3丁目	那覇市
			山下町第一洞穴遺跡	昭和44年8月26日	山下町167	那覇市
			国学・首里聖廟石垣	平成5年6月11日	首里当蔵町1丁目4-1	沖縄県
	名　　勝		首里金城町石畳道	昭和39年5月1日	首里金城町2丁目，3丁目	那覇市
	天然記念物		仲島の大石	昭和33年3月14日	泉崎1丁目20-3	旭橋都市再開発㈱
選択	無形民俗文化財		首里王府の路次楽	昭和53年3月24日	沖縄民俗芸能保存会	

〈市指定〉

分野	種類等	種別	名称	指定等年月日	所在地	所有者・保持者・代表者等
有形文化財	建造物	その他	読谷山御殿の墓	昭和59年8月1日	首里石嶺町2丁目68	那覇市
	美術工芸品	古文書	新修美栄橋碑	昭和52年4月8日	牧志1丁目951の地先	那覇市
			高宮城村地籍図	平成26年2月20日	那覇市歴史博物館	那覇市
		工芸品	蔵骨器１７２７年製「壇（どん）」	平成25年2月1日	壺屋1-9-32	那覇市
無形文化財	工芸技術		壺屋焼	平成13年10月1日	壺屋	壺屋焼保存会
民俗文化財	有形		安谷川嶽	昭和52年6月27日	首里当蔵町1丁目28-4	那覇市
			内金城嶽	昭和53年11月14日	首里金城町3丁目18，20	那覇市
			旧御茶屋御殿石造獅子	昭和61年6月25日	首里崎山町1丁目77-1	那覇市
	無形		首里汀良町の獅子舞い	昭和62年8月10日	首里汀良町	那覇市首里汀良町獅子舞い保存会
			首里末吉町の獅子舞い	平成2年4月12日	首里末吉町	那覇市首里末吉町獅子舞い保存会
			泊地バーリー	平成3年7月15日	泊	とまり会
			字安里のフェーヌシマ	平成6年3月30日	字安里	安里南之島保存会
			字安次嶺の村踊り	平成6年3月30日	字小禄（安次嶺自治会館）	安次嶺村踊り保存会
			字国場のウズンビーラ	平成6年3月30日	字国場	国場民俗芸能保存会
			首里のクェーナ	平成6年3月30日	字安里	首里クェーナ保存会
			首里王府の路次楽	平成10年3月20日	首里山川町	沖縄県民俗芸能路次楽保存会
			字大嶺の獅子舞い	平成13年10月1日	字栄原（字大嶺自治会館）	字大嶺向上会
			字大嶺の地バーリー	平成13年10月1日	字栄原（字大嶺自治会館）	字大嶺向上会
記念物	史跡		雨乞嶽	昭和51年4月16日	首里崎山町1町目77	那覇市
			与那覇勢頭豊見親逗留旧跡碑	昭和51年4月16日	上之屋1丁目6	那覇市
			宜野湾御殿の墓及び墓域	昭和51年9月28日	首里末吉町1丁目20，21	個人所有
			宝口樋川	昭和51年9月28日	首里儀保町4丁目80	那覇市
			上天妃宮跡の石門	昭和52年4月8日	久米1丁目3-8	那覇市
			金城大樋川	昭和52年4月8日	首里金城町2丁目8	那覇市
			仲之川	昭和52年4月8日	首里金城町2丁目11	那覇市
			沢岻親方の墓	昭和52年6月27日	繁多川4丁目193-2	個人所有
			安谷川	昭和53年11月14日	首里大中町1丁目61-2	那覇市
			王の殿と王川	昭和53年11月14日	楚辺1丁目345，346	個人所有
			寒水川樋川	昭和54年7月21日	首里寒川町1丁目54 外	那覇市
			ヒジ川ビラ	昭和54年12年7日	首里崎山町4丁目	那覇市
			崎山御嶽	昭和61年6月25日	首里崎山町1丁目39	那覇市
			泊外人墓地	昭和62年8月10日	泊3丁目20-1	那覇市
			新垣ヌカー	昭和63年8月25日	首里金城町2丁目39	那覇市
			上ヌ東門ガー	昭和63年8月25日	首里金城町3丁目39	那覇市
			潮汲川	昭和63年8月25日	首里金城町2丁目50	那覇市
			下ヌ東門ガー	昭和63年8月25日	首里金城町3丁目60	那覇市
			加良川（取付道路を含む）	平成元年7月14日	首里儀保町2丁目10-1 外	那覇市
			さくの川	平成2年4月12日	首里山川町1丁目89	那覇市
			渡嘉敷三良の墓	平成2年12月25日	牧志1丁目547	那覇市
			旧天界寺の井戸	平成6年8月10日	首里金城町1丁目2-40	沖縄県
			火立毛	平成10年3月20日	首里石嶺町2丁目250-97	那覇市
			美連嶽	平成10年3月20日	首里寒川町1丁目4-4 外	那覇市
			アモールシガー	平成11年2月10日	字小禄628	那覇市
			シマダガー	平成11年2月10日	字小禄606	那覇市
			波上（ナンミン）	平成18年10月10日	若狭1丁目26-3	波上宮
			臺湾遭害者の墓	平成20年4月10日	若狭1丁目26-5の一部 外	那覇市
	名勝		ガーナー森	昭和49年12月2日	鏡原町10-3，10-7	那覇市
			波上（ナンミン）	平成18年10月10日	若狭1丁目26-3	波上宮
	天然記念物		ガーナー森	昭和49年12月2日	鏡原町10-3，10-7	那覇市

【所在地、地域を定めず指定する天然記念物】

＜国指定＞　（令和５年５月末現在）

分野	種類等	種別	名称	指定等年月日	所在地	
天然記念物	特別天然記念物		コウノトリ	昭和31年7月19日	所在地、地域を定めず指定する	
			アホウドリ	昭和40年5月10日	〃	
			ノグチゲラ	昭和52年3月15日	〃	
			イリオモテヤマネコ	昭和52年3月15日	〃	
			カンムリワシ	昭和52年3月15日	〃	
	天然記念物		アカヒゲ	昭和45年1月23日	所在地、地域を定めず指定する	
			オカヤドカリ	昭和45年11月12日	〃	
			カラスバト	昭和46年5月19日	〃	
			ジュゴン	昭和47年5月15日	〃	
			ケナガネズミ	〃	〃	
			トゲネズミ	〃	〃	
			セマルハコガメ	〃	〃	
			リュウキュウキンバト	〃	〃	
			ダイトウオオコウモリ	昭和48年6月2日	〃	
			カンムリウミスズメ	昭和50年6月26日	〃	
			イイジマムシクイ	〃	〃	
			キシノウエトカゲ	〃	〃	
			リュウキュウヤマガメ	〃	〃	
			ヤンバルクイナ	昭和57年12月18日	〃	
			ヤンバルテナガコガネ	昭和60年5月14日	〃	

＜県指定＞

分野	種類等	種別	名称	指定等年月日	所在地	
天然記念物	天然記念物		フタオチョウ	昭和44年8月26日	所在地、地域を定めず指定する	
			コノハチョウ	〃	〃	
			イボイモリ	昭和53年11月9日	〃	
			クロイワトカゲモドキ (マダラトカゲモドキも含む)	〃	〃	
			ヨナグニサン	昭和60年3月29日	〃	
			ホルストガエル	〃	〃	
			ナミエガエル	〃	〃	
			イシカワガエル	〃	〃	
			アマミヤマシギ	平成6年2月4日	〃	

那覇市内指定等文化財件数一覧　（令和５年５月末現在）

	有形文化財（91件）													無形文化財（13件）				民俗文化財（16件）			記念物（53件）			選定保存技術	登録有形文化財	国県市別計
	建造物（14件）						美術工芸品（77件）																			
	（国宝）建造物	寺院建築	城郭建築	橋梁	住宅	その他	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	歴史資料	芸能	工芸技術	空手・古武術	選択	有形	無形	選択	史跡	（特別名勝含む）名勝	天然記念物			
国	1			2	1	3			2		3	4	5	5	1		1			2	6	5	2	1	6	50
県		1	1	3		1	7	7	37	4		3	2	2	3					1	7	1	1			81
市						1			1			2			1			3	10		28	2	1			49
計	1	1	1	5	1	5	7	7	40	4	3	9	7	7	5	0	1	3	10	3	41	8	4	1	6	180